



平成27年度 補助事業等実績報告書

平成28年4月28日

函館市長 工藤 壽樹 様

住所 函館市元町24番1号
補助事業者等 団体名 道南銀鈴会
代表者名 会長 井平 次郎

補助事業等の名称 道南銀鈴会運営事業

平成27年 4月30日付函福障をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、平成28年3月31日に完了しましたので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	50,000円
補助金等領収済額	金	50,000円
補助金等領収未済額	金	0円

平成27年度 補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日	昭和54年8月4日
	構 成 員	36 名
	営む主な事業	喉頭摘出者の発声技術の修得事業
補助事業等の内容	<p>身体障害者福祉事業の拡充に伴い、身体障害者自らの努力により、社会復帰の道を力強く踏み出し、地域社会の実情に即応しながら、関係諸団体との交流、相互親睦および協力を努めるとともに、食道発声、人工喉頭の研修上達に励み、また本会の発展を図ることを目的に次の事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、月4回の食道発声、電気式喉頭発声練習教室の開催 2、年間2回の特別発声訓練教室の開催 3、他団体主催の研修会への参加 4、各病院の喉頭摘出患者の慰問と激励 5、日本喉摘者団体連合会への参加 6、会員の情報交換と広報活動の推進 	
補助事業の実施による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1、発声指導員の資質の向上 日本喉摘者団体連合会北日本ブロックが開催した発声指導員研修を受講することにより、発声指導の向上を図った。 2、発声指導員増による訓練体制の強化 道南銀鈴会の指導員増で函館市および北海道南部の喉頭摘出者が、地元において、発声訓練を容易に受けることができた。 3、各病院との連携の強化 会報「鈴の音」の発行を通し、喉摘者に福祉や生活情報を提供した。また、各病院との連携を深め、喉頭摘出者の社会復帰の機会の一助とした。 	
備 考		

道南銀鈴会 補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
会費	120,000	120,000	108,000	108,000	12,000	12,000	会員減 会費 3,000円
補助金	50,000	50,000	50,000	50,000	0	0	函館市
助成金	350,000	60,000	350,000	60,000	0	0	相馬報恩会
雑収入	240,000	0	252,000	14,737	-12,000	-14,737	寄付, 手数料
合計	760,000	230,000	760,000	232,737	0	-2,737	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
研修費	250,000	56,000	269,140	76,340	-19,140	-20,340	例会運営, 特別練習, 指導者研修
会議費	130,000	44,000	111,710	30,710	18,290	13,290	理事会, 組織等変更
負担金	70,000	70,000	63,530	63,530	6,470	6,470	日喉連, 北日本ブック
事務費	150,000	60,000	150,941	62,157	-941	-2,157	賃料, 会報, 総会資料等
雑費	100,000	0	104,679	0	-4,679	0	幹旋物, 研修懇親会 補助等
交際費	60,000	0	60,000	0	0	0	慶弔等
合計	760,000	230,000	760,000	232,737	0	-2,737	

※実績報告の場合 収支差引額

0円

- (注)
1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合にしようすること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認められた書類を添付すること。